

平成29年度 新年総会



畠山前会長
10年間ありがとうございました。



加藤俊勝 新会長



秋田県
中島英史副知事



喜寿祝い記念表彰の方々

にぎやかに新年総会・懇親会が行われました

1月28日(土曜)近畿秋田県人会の総会と新年会がご来賓と会員102人で開かれました。総会では 役員改選で新会長に加藤俊勝さんが選任されました。加藤新会長からは、畠山圭司・前会長に10年にも及ぶ長い間のご苦勞に感謝し、敬意を表したい。また120年続く近畿秋田県人会の歴史を誇りに思い、新しい時代に合わせて県人会を継続させていく責任を強く感じていると あいさつがありました。ご来賓の中島英史副知事からは、4月の大仙市の国際花火シンポジウム・9月のねりんピック秋田2017のご案内がありました。米寿と喜寿の会員をお祝い、民謡ふるさと会々主の佐藤桃仙さんの大黒舞で懇親会はスタートしました。詩吟あり、けいおんあり、ドンパン節の全員踊りあり、秋田の銘酒に酔いしれてのおしゃべり大会でした。



来年の新年会も
また元気にお会
いしましょう !!

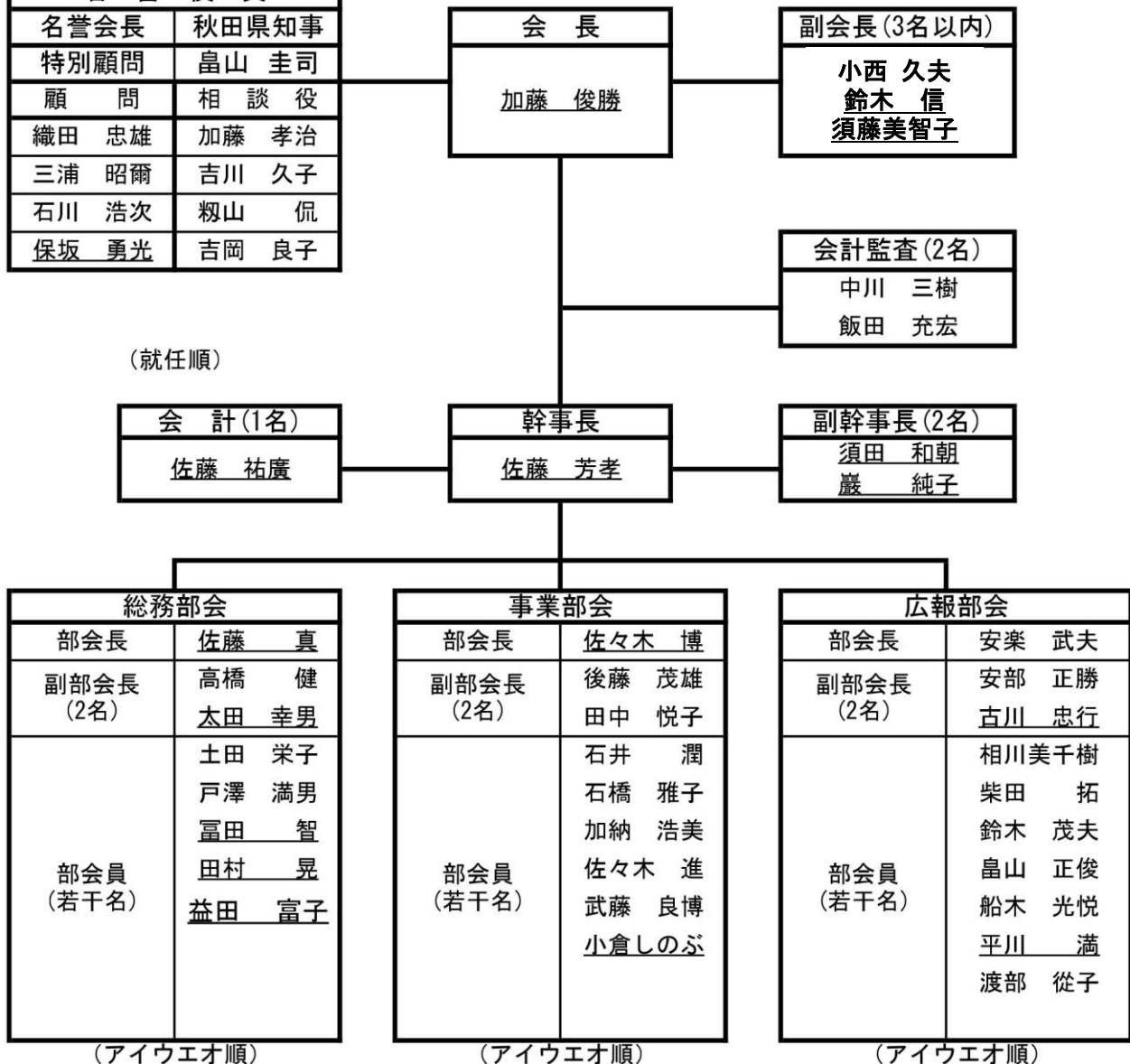


県人会組織(平成 29・30 年度)

近畿秋田県人会

名 誉 役 員	
名誉会長	秋田県知事
特別顧問	畠山 圭司
顧 問	相 談 役
織田 忠雄	加藤 孝治
三浦 昭爾	吉川 久子
石川 浩次	棚山 侃
保坂 勇光	吉岡 良子

(就任順)



(アイウエオ順)

(アイウエオ順)

(アイウエオ順)

まだまだ、人材不足です。
お時間の採れる皆さんの参画をお願いします。

活動はそれぞれ違いますが、イベント企画準備等
必要に応じて、事務局には祝日以外の月曜日・木
曜日に 10 時から 16 時まで主に滞在します。

注) 名前に下線のある人は新任者又は異動者です

平成 29 年度 執行部 活動方針

【県人会運営の方針】

会長 加藤俊勝

県人会運営の方針として、二つの事に注力していきたいと思っています。一つ目は、会員第一の運営に徹するという事です。会員第一とは、当たり前のことですが、会員の皆さんに楽しい、嬉しい、美味しい、面白い、懐かしい、また参加したいと思って頂けるような会の運営を目指すことであります。そのために最も重要なことは対話を深め相互理解を深めて、皆様のお声を十分運営に反映することであると考えております。

そして、二つ目は、会員相互の連携はもとより同窓会ほかの組織や団体との連携を重視するという事です。幸い今回の役員体制には同窓会において現役でご活躍の方々にご参加いただいておりますので、同窓会との関係がより深まると考えております。また、一昨年より秋田県から「県人会等ネットワーク化推進事業」を受託し県との連携も進んでおります。さらにまた、昨年の120周年記念式典・祝賀会の際に秋田県下の25市町村長様からお祝いのメッセージを頂いた繋がりを大切にしながら、市町村との連携も深めて参りたいと考えています。

課題となっている会員の増強につきましては、会員第一の運営と広範な連携のもと、これまで進めてきたHPやFB等のSNSや、会報などをさらに有効に活用し情報の受発信力を高めることで実現できるものと考えております。いずれにしても、会員の皆様のご協力、ご参加なくしては、これらの実現はかなわないものと思いますので、是非よろしく願いしたいと思っております。



【楽しみに思える会に】

副会長 小西 久夫

一昨年の『ミニ近畿あきた 44号』の執行部活動方針のコーナーに今回が最後のご奉公と書きましたが、故在ってもう一期副会長を務めさせて頂く事になりました。宜しくお願い致します。この度の新役員選任に依り顔触れが大幅に変わると共に、比較的若い方の多い編成となった様に思います。これに依り、会運営に於いて県人会の伝統的美質を大切にする事は勿論の事です。新しい試みも大いに採り入れる斬新さが期待できる体制が出来たと思って居ります。今後共、会長の補佐役に徹し、皆さんには今まで以上に、喜んで頂ける会運営に努めて参りたいと思っておりますので、何卒一層のご支援と、ご協力を頂きます様、宜しくお願い致します。



【副会長を拝命いたしました秋田市出身の鈴木です】

副会長 鈴木 信

これまで、役員の方々の献身的な活動ぶりに感心しつつも積極的には手伝いもしなかった自分がこの様な役割を引き受ける事には、非常に抵抗がありました。しかし会長より、県人会と各高校同窓会のシナジー効果を引き出し更に両会を発展させる為、各高校同窓会の皆様に役員を引き受けていただきたいとの意向を伺い引受ける事にいたしました。県人会の運営は全くの素人ですので、可能な限り行事に参加し会員の皆様の声を直接聞く事から始めたいと思っております。県人会は、会員の皆様の故郷秋田を思う心が大きな絆となって支えられております。このことを大事にし、各役員の方々と共に会長を助け、会の発展に寄与したいと思っております。



平成 29 年度執行部活動方針

【会員の信頼と共に】

副会長 須藤 美智子

29年1月役員改選にあたり副会長を拝命致しました須藤美智子です。昨年は県人会創立120周年記念行事、会計年度の変更と多忙な日々でありました。新体制になり事務局内も新しい風が吹いております。会計についても担当の方に引き継ぎしながら、電算化に向けて準備を進めております。若い会員の皆様に今後の活躍を期待しております。



【心はひとつ、共に知恵を出し合い取り組んでまいりましょう】

幹事長 佐藤 芳孝

「真剣になると知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。やる気がないと言い訳が出る。」今年定年を迎え仕事内容も変わり、少し楽になると思っていたところ、近畿秋田県人会の幹事長を任命され、お引き受けしてしまいました。120年の歴史があるボランティア団体でありながら会則等もしっかり整備され、諸先輩方の汗と努力、そして多くの知恵の結晶が、当秋田県人会だと思っています。お引き受けしましたからには中途半端ではなく、責任を持って業務を遂行しなければと決意しております。県人会の行事に参加し「元気を貰った・楽しかった」と一人でも多くの方々から声を掛けていただけるよう努力して参ります。



「老い」は神様からの贈り物です。「老い」を意識する時、人はより柔軟に謙虚になることが出来ると信じております。まだまだ元気な諸先輩方の知恵を県人会運営に活かしながら、力まず淡々と・・・をモットーに多くの方々との「いい出会い」を育て、そして皆で真剣に知恵を出し合い、更なる県人会の発展に向け頑張ってお参りますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

【皆さんのパワーで更なる活性化】 副幹事長 須田和朝

この度副幹事長を仰せつかりました。今まで県人会活動にさほど熱心に取り組んでいた訳でもなく、正直戸惑っている状態です。副幹事長という立ち位置もまだ十分理解できていませんが、まずは、できるだけ会の諸活動に参加することから始めていきたいと思っています。

実は今年、初めて観桜会に参加し、次から次への同好会活動の発表を目の当たりにして、そのパワーには驚きました。皆さんのその力に依拠して、県人会を更に活性化するお手伝いが役割かなと感じていますので、経験不足ではありますが宜しくお願い致します。



【楽しい時間を共有しましょう】

副幹事長 巖純子

長年 広報部会員として広報誌の編集・作成・広告依頼等 年間を通じて県人会の皆様にはお世話になってきましたが、この度 副幹事長を拝命いたしました。会員の皆様と楽しい時間を共有するためのお手伝い係だと考えています。今回の役員改選により、自覚を持って引き受けてくださった役員の方々を補佐しながら、魅力あふれる、充実した県人会にして行きます。若い会員からはパワーとスピードをもらい、諸先輩方からは経験と知恵を頂き、盛り上がる県人会にして行きます。これからのご協力をよろしくお願い致します。



【会計として県人会に貢献】

会計 佐藤 祐廣

今年度から、会計として県人会に貢献させて頂きたいと思っています。大切なお金に関することですので背筋の伸びる思いです。若輩ではありますが、諸先輩方にアドバイスを頂きながら、不易流行を主眼に、より良い仕組みの構築と、健全に連綿と継いで行ける体制作りになんぼりたいと思います。よろしくお願い致します。



【I LOVE あきた！】

総務部会長 佐藤 真

近畿秋田県人会の会員として、これまでは時折行事に参加する程度でしたが、この度総務部会長を拝命し県人会の執行運営に携わることになりました。近畿秋田県人会の発展に微力ながら貢献できればと考えております。

総務部会の活動の柱は、ひとりでも多くの方に県人会への参加を呼びかけ、秋田つながりの喜びを実感できる楽しい行事を企画運営することです。

「I LOVE あきた！」秋田を想う気持ちを会員皆さままで共有できる楽しい場を提供できるように取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。



【行事・スポーツ応援】

事業部会長 佐々木 博

県人会に入会させて頂きまだ三年ですが、事業部会長の役を受けることになりました。入会以来、県人会の行事・スポーツ応援にほとんど参加してきた事で指名されたと思っています。まだまだ、会員の皆様の名前と顔が一致しない為失礼があると思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

事業部行事の観桜会も会員皆様方の協力を頂き無事終える事が出来ました。今後、夏の納涼祭、秋のきりたんぼ鍋と事業部の行事が続きますので、大勢の会員の方々の参加をお願い致します。会員として、これからも同好会・スポーツ応援に参加させていただきます



【明日の県人会を担う新人の発掘に向けて】

広報部会長 安樂 武夫

10年振りに加藤新会長となり、県人会裏方の役員体制が刷新されました。その中であって5年目の部会長の任を継続することになりました。これまで、積極的に協力する部会員に支えられ、会報、ホームページの外部依存度を減らし、内製化を90%程度達成できております。

しかしながら、現状は私も含め現役メンバーが多く部会内での編集・校正のスキル平準化の学習時間が充分にとれません。新人加入も待たれますが、当面一部の人間に編集・校正の負担が偏る状況を改善するために、外部委託を効率よく行う事も並行して検討中です。

次期県人会を担う新人発掘の為に、県人会情報発信のネットワーク化をより一層図りたいと考えています。皆さんの忌憚ないご意見を頂ければ幸いです。



大阪事務所着任にあたって

秋田県大坂事務所

副主幹 柿崎 幸

初夏の候、近畿秋田県人会の皆様におかれましては、日頃からふるさと秋田の力強い応援団として多大なご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

この4月に着任し、絶え間なく行き交う人と物の流れに圧倒される毎日ですが、大阪市内中心部を取り囲むように流れる水路や歴史の生き証人ともいえる重厚な石造りのビルディング、大阪港に立ち並ぶ巨大なガントリークレーンなどを見るにつけ、様々な顔を持つ商都の懐の深さに感じ入る今日この頃です。

さて、知事選も終わり、県では地方創生に向けた取り組みを一層加速化させるべく、今後の県政方針の策定を進めているところであります。また、今年度は首都圏のみならず、関西圏での秋田県産品の販路拡大にも力を入れて取り組んでいくこととしておりますので、引き続き、皆様のご指導とお力添えをいただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

大阪は「言葉」をととても大切にする土地柄だと先日、とある落語家さんからお聞きしました。出会いは一語一会。常に誠意を持って言葉のキャッチボールができるよう、努めて参りたいと思いますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

日本酒愛好会



桜の開花を1月足らずに控えた3月4日、日本酒愛好会主催の日本酒を楽しむ会春の宴が京都市中京区の旧大岩亭（がんこ高瀬川二条苑）で13時から開会されました。

参加者は同日開催の秋田工業高校OBのハイキングと重なり13名と少人数でアットホームの会となりました。今回も例に洩れず会で準備した1人約4合の日本酒に加え、会員の持参して頂いたレアな日本酒約2升で1人5合近くの8種類のお酒を楽しむ事となりました。

持参した鮎ずし、ぎんなん、黒枝豆と店の和食で和気あいあいと、途中、酒の選定をお願いした京都の老舗タキモト酒店の滝本副社長も合流、2時間の間に1升を残し完飲。

遠方から参加の皆さんはお開きになりましたが、転勤が決まった大阪事務所橋本秀樹所長、阿部敏明さんの2名を加えた4名で残った1升を抱え2次会会場が開く18時過ぎまで、イタリアンレストランのカプリチョーザへ。ワイン2本を空け、カラオケスナックへ。やはり最終22時頃のお開きとなりました。

記 幹事 安樂武夫

錦織公園まで「歩こう会」

4月22日（土）、歩こう会メンバー19人で富田林市の錦織公園へ春を楽しみに行ってきました。

清々しい春の風を感じながら歩く約8 Kmの道のりはけっこうなアップ・ダウンありの大きな、広い公園です。歌いながら渡るメロディ橋やPLの塔を眺める展望台、滝あり、水車小屋あり、咲き始めのつつじありの目も心も楽しませてくれる行程でした。

「秋田は今頃さくら満開かなあ～・遠足のバナナはおやつかなあ～・200円まで？300円まで？・駅弁のお茶の入れ物が陶器だった？ジェネレーションギャップかあ～（笑）」って言いたい放題の気心の知れた仲間との楽しい一日でした。次回は京都の藤棚を見に行こう！と みんなで作戦会議をして帰りました！！

巖 純子 記



“ついに「やもめの会」開催”

三県合同新年会の席で、酒の勢いも重なり結成された「やもめの会」が初めて4月14日（金）、がんこ東通り店で開催された。青森・岩手・秋田の三県の独身者が多く参加された中、妻帯者も交えた賑やかな宴会となり、自己紹介からのスタートとなった。

さすがに独身暦が長いせいか、ユーモアたっぷりに独身生活を振り返りながら語り、お互い和気あいあい盛り上がりのある楽しい一日となりました。

初めてとなる三県合同「やもめ会」でありながら、お互いが意気投合し、同じ県人会同士が語り合っているように心が和み、すでに各県から次回開催の話がでるほどに非常に良い雰囲気で行われることができました。次回お楽しみに！有志来たれ！

保坂 勇光 記



やもめの会 入会希望者は

県人会事務所もしくは、やもめ会副会長の保坂までご連絡ください。

秋田プロバスケット・ノーザンハピネッツ観戦記



秋田ノーザンハピネッツ VS 大阪エヴェッサ

1/21日(土曜)県人会員およそ20人で揃いの法被で応援してきました。コンサート会場のような大音量の音楽と声援、美しいチアガールさんのダンス、何より選手のかっこよさに圧倒されました。

外国人選手の手足の長さも、日本人選手の器用な動きも、初めて見る県人会員の心を驚つかみにしました。コート狭しと走り回り、激しくぶつかり合う展開に生の感動をもらいました。残念ながら負けてしまいましたが、多くの県人会員がこの機会にファンクラブ(ふるさと会員)に入会しましたので、次回を楽しみにしています。

秋田ノーザンハピネッツ VS 滋賀レイクスターズ

2/5(日)滋賀県大津市で秋田ノーザンハピネッツ 対滋賀レイクスターズの試合観戦をしてきました。近畿秋田県人会から5人、京都秋田県人会から6人、合計11人でまったくのアウェー戦でしたが、力のかぎりの大声援を送ってきました。

前日に負けているのでどーしても勝ちたい一戦でした。最初のリードが続かず追いかける展開で、ずーとはらはらどきどき。なかなか連続ポイントにならない試合でしたが、最後の最後で1点差で勝ち越し！勝つってホントに気持ちいいことですね。秋田から来た応援の方たちと狂喜乱舞です。もっと、もっと 勝ち試合を見たいです。

少年ラグビー ヒーローズカップ決勝大会

ヒーローズカップは、2009年2月に初めて関西地区を拠点とした、6年生中心のチームがラグビーの普及、技術の向上や参加する皆さんが人間性を育み、高め合いながら実践することを目的として開催されたのが始まりで、今では徐々にその輪が広がり東花園ラグビー全国大会へと発展した。秋田県には、少年（小学生）ラグビークラブが11チームあり、毎年全国大会を目指し、お互いがしのぎを削り戦っています。

今回は、高清水クラブが秋田地区を優勝し東北大会へと進み、決勝で岩手を35対30で下し、初めて東北代表の座を手に入れました。その第9回を迎えたヒーローズカップ決勝大会が2月25、26日の2日間にわたり東花園ラグビー場で開催された。

非常に良い天気恵まれ、青空のもと、東北の王者として初めて高清水ラグビー・スポーツ少年団が大阪に乗り込んで来た。試合は5チームが1グループとなり総当たり戦で行われ、勝者がトーナメント式で優勝を決める珍しい組み合わせでした。高清水クラブは“D”グループで戦い1勝3敗シールド4位グループとなり、県人会皆さんの熱烈な応援もむなしく結果、残念ながら上位グループに入る事が出来ませんでした。しかし、負けることの方が多い中、勝つことの難しさや、努力をして、自らの人生のヒーローになる事などを学ぶ良い体験が出来たと思います。

相手の大きな体格に必死にタックルし耐え抜いた精神力は立派で、上級生になっても必ず生きて来る事でしょう。“ノーサイド”若きヒーロー達よ、沢山の夢を持って高校生として、再び花園ラグビー場へ！

保坂勇光 記



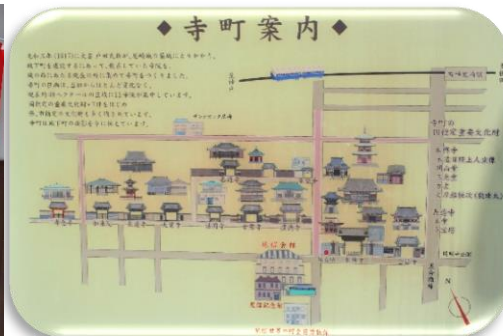
尼崎お寺参り

3月4日秋田工業同窓会が尼崎市の寺巡りを行いました。近畿秋田県人会々員からも参加がありました。尼崎の代表的な歴史空間“寺町”は約3.9ヘクタールの地域に11か寺が軒を連ね、かつての城下町であった面影を今に伝えています。

寺町とは、多くの寺院が集まった地域に見られる地名で、その多くは、近世城下町の建設とともに、政治的意図をもって城下町の外縁に造られました。

尼崎の寺町は市街地の中心部でありながら、今日に至っているのは極めて貴重な存在と言えます。また、由緒ある寺院が多く国・県・市指定文化財も集中しています。また境内には寺の守り神として七福神が祀られているお寺もあります。

安部 正勝 記



観桜会

2017年4月1日（土）に開催されました今年の観桜会。午前11時にJR桜ノ宮駅に集合し、天満橋にある大阪キャッスルホテルまでのおよそ2.5kmをゆっくりと歩きました。源八橋を越えて大川沿いを進むルートで、帝国ホテル前では記念写真。しかし例年より桜前線が遅く、つぼみも多かったように思います。

キャッスルホテルでの宴会は、12時半から行われました。初参加の人も含め過去最高の96名の大宴会でした。その中には若い男性もあり、諸先輩方から引っ張りだこだったようです。また、前日の3月31日までが着任期間であった橋本秀樹前秋田県事務所所長も参加され、会に華を添えてくださいました。宴会が始まってからは、飲めや歌えのいつもの県人会。秋田の食材に秋田のお酒で盛り上がり、詩吟、おやじバンド、民謡、フラダンスなどを楽しみました。年間行事はまだまだ続きますので、皆様のご参加お待ちしております。

畠山正俊 記



皆さんからの差し入れの手に
入れにくい貴重なお酒の数々



本日のお酒が全員集合





県人会後援 第23回 秋田民謡大会開催



例年 6 月に開催されていた「秋田民謡西日本大会」が会場の都合などにより去る 3 月 20 日（月・祝日）に、大阪市天王寺区民センターにて開催されました。

本大会から、長い間実行委員会長として大会の運営を担ってこられた齊藤功氏（県人会員・民謡同好会師範）から名門梅若流の梅若晶子さんへと実行委員長が引き継がれた大会となりました。全国数多くある民謡大会の中でも、秋田民謡大会と名を冠する大会は、東京と大阪の二つのこと、貴重な大会であると自慢してもいいのではないのでしょうか。

本大会も、例年のように数多くの秋田民謡愛好者及び各種団体様の支援とご協力により、コンクール出場者（一般） 107 名・（子供） 8 名・コンクール外 14 名・団体合唱 4 団体・三味線合奏・民謡・歴代優勝者 12 名 計 141 名が集い盛大に開催され、秋田民謡を心おきなく楽しんだ一日となりました。

県人会もコンクールに数名出場しましたが、残念なことに 2 名の入賞で終わりました。来年は 頑張ろう！

【本大会の結果】

一般の部	優勝者	森口 隆信	秋田荷方節
	準優勝	高木 妙	本荘追分
子供の部	優勝者	前畠 美桜	秋田船方節
	準優勝	内田 亜弥音	能代舟唄

萬田 耕 記



2017 食博覧会・大阪

4/28～5/7 までの 10 日間、4 年に一度の食博覧会が大阪南港・インテックス大阪で開催されました。日本の祭りと全国の味が大集合です。オープニングでの竿燈の披露はとて美しくビルと青空に映えて誇らしかったです。

秋田の美味しいものがてんこ盛りです。きりたんぽ・大潟村のかぼちゃパイ・一乃穂のおかき・バター餅・じゅんさい・とんぶり・あくらビール・秋田の銘酒の数々・金萬は 28 個食べなきゃ！黙ってても飛ぶように売れるいぶりがっこ！

県人会員は、のべ 50 人超えの助っ人です！観光パンフ配布と販売手伝いと試飲・試食の行列で大忙し・大変でした。総入場者 62 万人の大イベントに、少しでも秋田の応援をしたい県人会員の気持ちが原動力になりました



由利本荘市・大阪城の春のイベント参加！

大阪城で 5/3～5/5 まで「真田丸のゆかりの地」関連イベントが開催されました。由利本荘市は、真田幸村の五女・御田の方が生きたまちです。大阪城では昨年の秋に続き春のイベントとして物産販売と「亀田大神楽」のステージ出演がありました。

県人会員も昨年に続き応援に駆けつけました。天鷲村のプラムワインやゼリー、あつみのかりんとう、いぶりがっこ、西目のりんごジュースを販売しました。



外国からの観光客であふれる大阪城はいろんな言葉が飛び交う中、秋田弁大健闘です！フランス人と思われたかも☆最終日前に物産はほぼ完売でした。もちろん県人会員 大活躍です！



感動の大曲国際花火シンポジウム

大仙市の「メディカルハーブ専門店自然栽培カフェ Cocoto」の店主から国際花火シンポジウムの機軸席を取って頂いたので、4月29日に花火を見てきました。大曲の花火を会場で見るとは初めてでした。19時の打ち上げを待つ会場は熱気ムンムンで、「5, 4, 3, 2, 1、スタート！」の後、オープニングに相応しい音楽が流れ大輪の花火が打ち上げられ、「うわあー」「すごーい」と私も周りの人達も歓声が自然に口から出ていました。

途中、海外の花火を挟み、フィナーレは夜空いっぱいに連発の花火が広がり皆一斉に拍手！！本当に素晴らしい「第16回国際花火シンポジウム大曲の花火～春の章～」でした。また夏の花火にも是非行ってみたいです。

『国際花火シンポジウムは2年1回開催される国際花火大会で、日本での開催は2005年の 滋賀県に続いて2回目で、秋田での開催は最初で最後と言われています。』
平川 満 記



会員動向（平成29年5月末現在）

新入会員

比嘉リツ子
佐藤信雄
佐藤俊樹
石原行祐

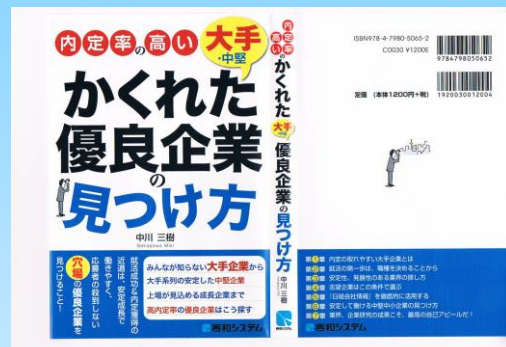
退会者

石上欽一
保科成樹
稲田増光
高橋浩子

☆退会日訂正：戎谷鎮雄 H. 28. 8/31

皆様の身近な秋田県ファンを
ご紹介ください!!

中川三樹さんの新書が発売されました。



amazon カスタマーレビューから
転職時に購入しました。ブラック企業になってしまう原因は色々ありますが、その一つの大きな要素として、「儲かっている業界か」という切り口を本書で学びました（中略）他の本にはない切り口なので、お勧めです。

間近のイベントのご案内

7月15日 納涼祭（大阪キャッスルホテル）
7月23日 北東北三県合同ビアパーティ
（梅田スーパードライ）

近畿秋田県人会ホームページ

<http://kinkiakita.com>

FACEBOOK

<https://www.facebook.com/osakaakita>

メールアドレス

info@kinkiakita.com